

精神科専門医研修プログラム

精神医療と精神福祉の総合サービス

社会医療法人北斗会 さわ病院



2019 年度後期研修

さわ病院 精神科専門医研修プログラム

はじめに



一人前の精神科医師になるために

治療の対象は本人ですが、より広くその人を取り巻く人たち（家族や地域支援者、かかりつけ、他科、行政など）らの安心をいかに提供できるかが課題であり、チーム医療の実践が必須です。

そのためには、外来や入院治療が一人でできるようになることはもちろん、精神科救急や地域精神科医療の担い手として、さらに超高齢社会においては認知症をはじめとする高齢者や身体的な問題を抱える人たちへの対応も求められます。

より専門性の高い治療（修正型電気けいれん療法やクロザピン治療）、サブスペシャリティの習得も望まれます。超高齢化社会において認知症や老年精神医学、さらにリエゾン精神医学を習得することも重要です。他、職場のメンタルヘルスや睡眠障害の治療の経験も望ましいと考えています。

地域にて本人を支えるためには、家族はもちろんのこと、かかりつけ医や地域支援者、行政らと協働し、「病院をでて」治療をするという心構えが必要です。そのためにアウトリーチ（患者の求めているところに赴いて治療をしていく）という概念が重要です。

1 か所ではなく複数の環境で研修することで幅が広がります。

さわ病院とは

さわ病院は大阪府北部における中核的な精神科病院で、日本トップレベルの民間の精神科救急病院です。精神科救急を診療の軸とし、1ヶ月のうち20日以上、夜間休日の精神科救急センターの当番および緊急措置入院の当番にあたっており豊能二次医療圏を管轄しています。また当院は、認知症疾患医療センターを併設しており、鑑別診断や周辺症状の治療などの診療だけにとどまらず、他の医療機関や福祉機関、行政機関とも連携し豊能二次医療圏の認知症政策も支えています。

さらに、精神科患者の身体合併症治療を円滑にできるようにするため、近隣の総合病院に精神科医師を週1～2回派遣して、従来の枠組みにとらわれない、顔の見える病病連携をおこなっています。地域医療を支えるため「迅速性、責任性、継続性」を病院の基本方針として掲げ、「待たせない」「断らない」医療を目指しています。

さわ病院とは

長年のあいだ、精神科専門医研修施設、卒後臨床研修病院（市立池田病院、愛仁会千船病院、済生会茨木病院、市立宝塚病院、済生会中津病院、済生会千里病院、淀川キリスト教病院の協力型研修病院）、奈良県立医科大学の医学生の臨床実習病院として、精神医学教育・研修の役割を担ってきました。

毎年多くの医師がスキルアップのために入職し、特に若い医師が多く在籍しており、これまでに、日本精神神経学会認定の精神科専門医（過渡的措置を除く）を、17名以上取得しています。さらに日本老年精神医学会専門医を9名、精神保健指定医については2005年以降少なくとも40数名養成してきた実績があります。

「さわ病院連携プログラム」について

本プログラムは、「さわ病院」が基幹施設となり、それぞれ特徴のある連携施設と協力し、地域・医療機関を問わず日本中どこでも活躍のできる臨床精神科医を養成することを目指しています。本プログラムでは指導医が豊富なため、専攻医に対して手厚くきめ細かな指導ができ、精神科医としての基本的な倫理性や患者及び患者家族への思い、地域医療のありかた、疾病に対する学問的な態度を学ぶことができます。また、日本老年精神医学会、日本認知症学会の認定施設であり、それぞれの学会認定専門医を習得することが可能です。なお、精神保健指定医の申請に必要な症例は、プログラム終了時点で自ずと経験しています。

症例数の多さ

様々な症例を経験することができ、精神科医としての基礎力・応用力が自然に身に付きます。また、**精神保健指定医の為の症例も十分集まります。**

- 幅広い疾患を治療

当院では精神保健福祉法に定める入院形態をすべて受け入れており、さらに医療観察法の鑑定入院や指定通院患者も受け入れています。

- 難治性精神疾患に対する専門的治療法も経験できます

救急・修正型電気痙攣療法（mECT）を麻酔科専門医の管理の下で行っており、最先端の電気治療技法を習得することができます。

また当院は、クロザリル患者モニタリングサービス(CPMS)の登録医療医機関となっており、CPMS登録医とともに診療に当たることでクロザピンによる治療経験を積むことができます。

充実の指導体制

- 研修医指導選任の医師を招聘

高知大学医学部精神科名誉教授の井上新平先生をお迎えして、後期研修医をはじめとした医局員の指導を毎週お願いしており、研修医の診察への陪席（！）もご指導していただくこともあります。

- 手厚い指導体制

後期研修1年目は各研修医へ1名ずつ指導医を配置するマンツーマン体制です。当直時も上級医と二人体制をとっており、不安なことや対応に困ることがあれば、いつでも相談できます。

- 大学病院並みの指導医数

精神科指導医が11名在籍しています。また、日本老年精神医学会指導医7名、日本認知症学会指導医1名、日本総合病院精神医学会指導医1名が在籍しています（2018年5月現在）。

働きやすい職場

- 柔軟な勤務体制

さわ病院は水曜、日曜の週休2日制をとっています。

さらに、午前休、午後休のシステムも確立しており、当直明け等での体力的な負担をできるだけ軽減するようにしています。

勤務年数に関係なく、各先生のニーズに沿ったフレキシブルな勤務スケジュールを組み、2年に1回のリフレッシュ休暇（7日間）の取得も可能です。

- 風通しのよい医局

医師員の出身大学は様々で、出身大学、年齢、性別、国籍による区別はありません。

医局内は和やかな雰囲気、些細な事でもすぐに相談できます。

- 立地条件の良さ

基幹施設のさわ病院は、梅田まで約30分という立地で、空港や新幹線へのアクセスも非常に良いため、就業後に勉強会や講演会に出かけることも可能です。

女性医師へのサポート

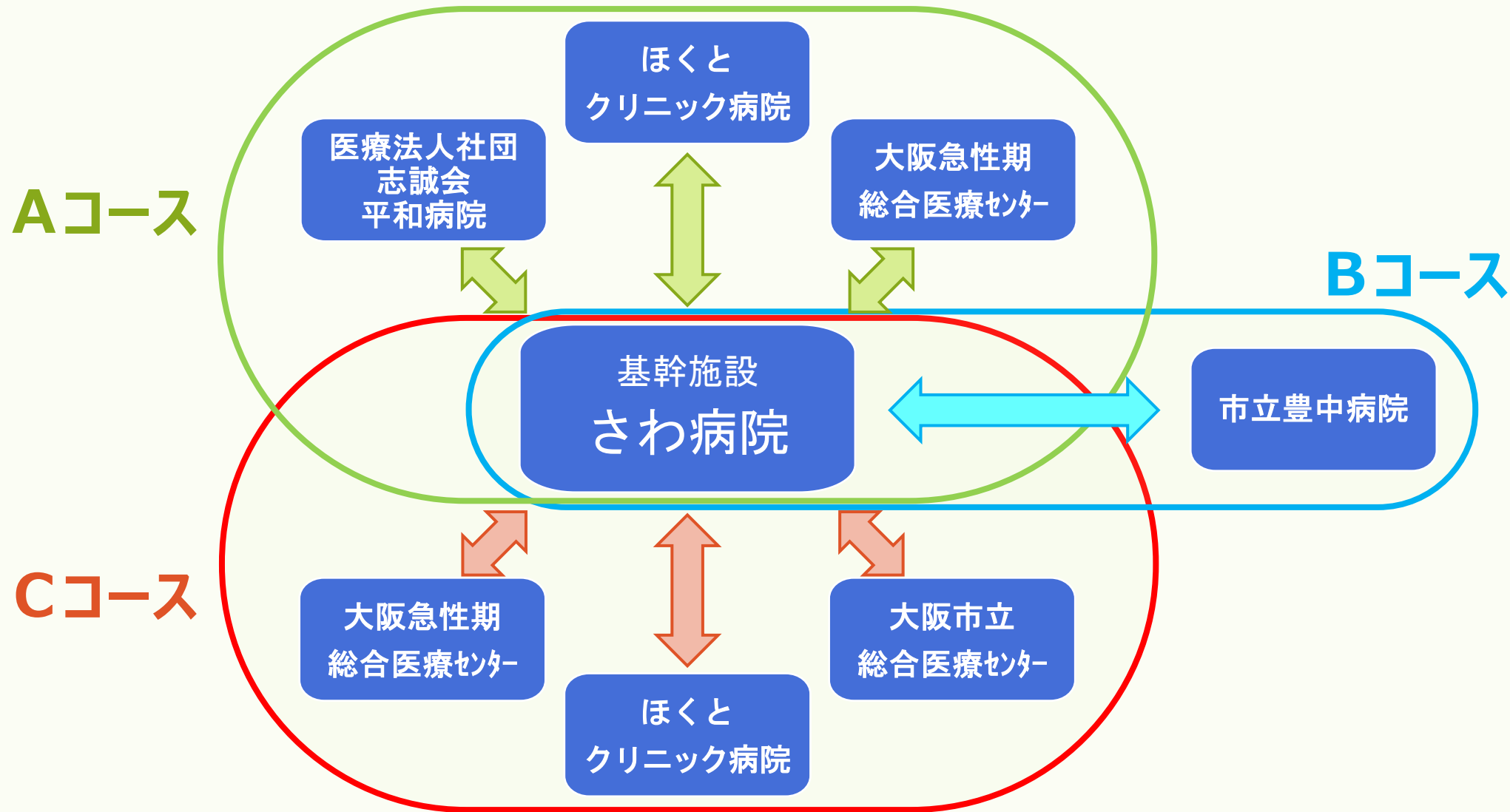
- 現在、女性医師は10名
 - ・常勤医は7名（内1名は育児シフトで勤務中）
 - ・内科非常勤医3名（3名ともママさんドクターです）
- 産休・育休制度があり、付属の保育園も完備しています
- 育児中の時短勤務にも個別に応じます
- 若い医師の中には子育てをしている医師も多く、出産、育児に対する医局員の理解は良好です

さわ病院 精神科専門医研修プログラム

プログラムの の流れ



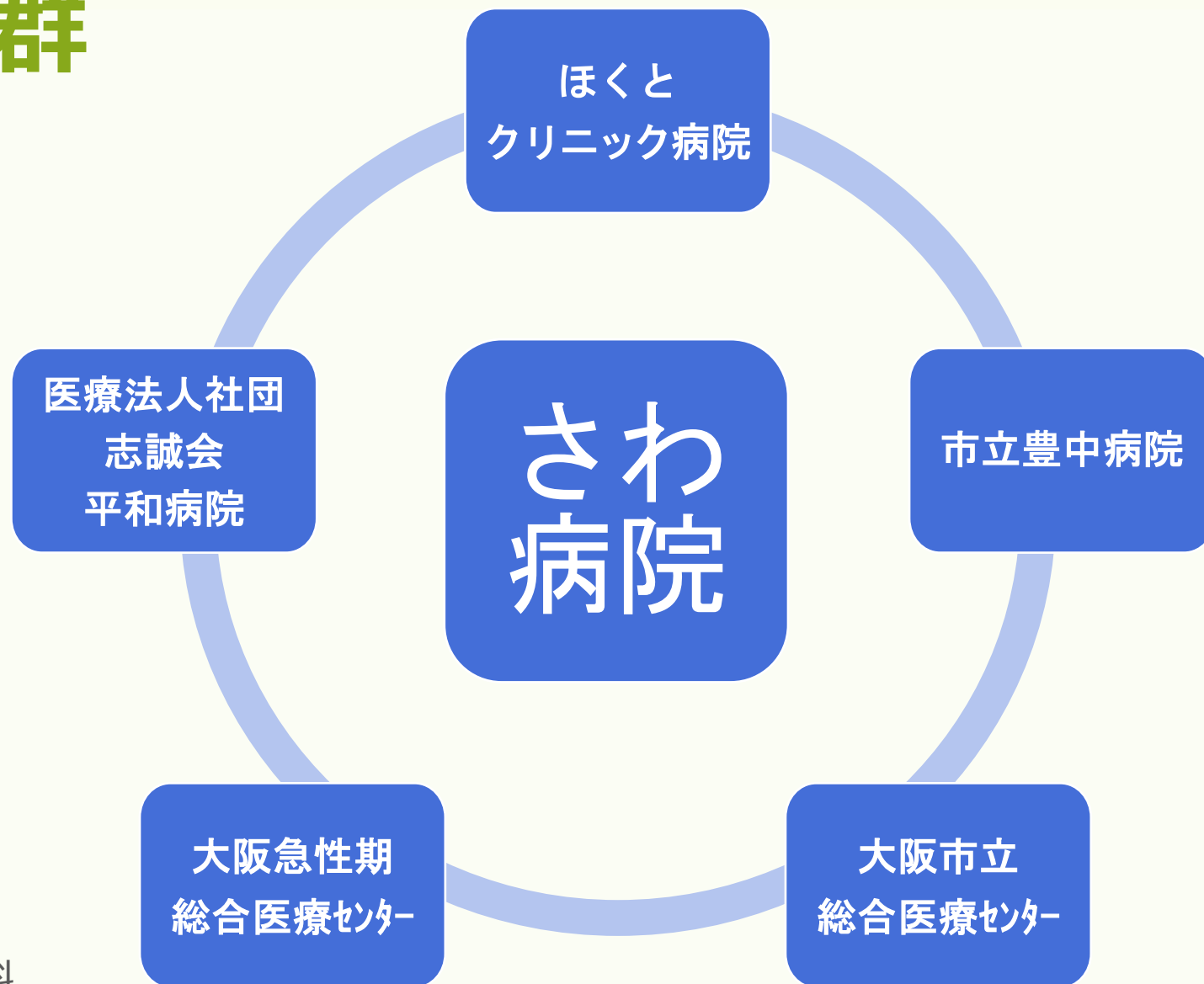
研修プログラム ローテーションモデル



専門研修施設群

各研修領域

- さわ病院
→精神科common disease
社会復帰/認知症疾患医療センター
- ほくとクリニック病院
→都市型精神科救急
- 大阪急性期総合医療センター
→身体合併症/リエゾン/救急との連携
- 医療法人社団志誠会 平和病院
→地方型精神科
- 市立豊中病院
→精神科リエゾン
- 大阪市長総合医療センター
→身体合併症/リエゾン/児童青年精神科



連携施設1：ほくとクリニック病院

精神科救急病棟50床だけを有している全国的にも珍しい病院である。同一法人であるさわ病院同様、精神科救急の理念として精神障害者が地域で安心して生活できるための地域の一資源としての精神科救急を中核としている。当院での研修は基幹病院であるさわ病院やその他の連携施設において一定の期間研鑽を積んで、精神科医としてある程度独り立ちできる知識と技能を身につけた後に、地域、都会で生活する精神障害者を当院外来で支えることを実践することであり、外来研修を主体とする。当院での外来研修が終わったころにはどのような症例でも自信をもって診ることができる精神科医として成長していることを約束する。日本老年精神医学会の認定施設である。

連携施設2： 大阪急性期・総合医療センター

精神科閉鎖病棟をもつ総合病院は大阪府下でも数少なく、大阪府における身体合併症医療の中核的な役割を担っており、高度救命救急センターとの密な連携を軸に、多くの身体合併症患者・自殺企図患者の治療を行っている。精神科病院や精神科クリニックでは経験できない、総合病院精神科ならではの多彩な症例を存分に経験でき、精神科医としての技量の幅を広げることができる。さらに、措置・緊急措置入院、思春期症例の入院もあり、数年来、毎年のように新しい精神保健指定医を輩出している。平成22年5月より精神科救急・合併症入院料を算定している。日本総合病院精神医学会特定認定施設である。

連携施設3： 医療法人社団志誠会 平和病院

212床の単科精神科病院で、42床の急性期病棟と慢性期の療養病棟を有し、精神疾患の急性期から回復期を経て退院後のリハビリまでを、多職種の治療チームとして包括的に関わることを心がけている。生活訓練施設やグループホーム、就労訓練施設、デイケアも併設しており、入院から社会参加までをサポートする一貫した治療システムを整備している。認知症のBPSDの治療も積極的に行っており、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所も併設している。訪問看護も充実しており、退院後の社会復帰や地域生活のサポート、リワークにも力を入れている。ここでの研修を通して、それぞれの疾患の特性に応じた社会参画や地域での生活支援のあり方を体得することができる。

連携施設4：市立豊中病院

市立豊中病院は、24診療科、613床を擁する急性期病院であり、大学病院を除けば北大阪で最大の総合病院である。国指定地域がん診療連携拠点病院として豊能二次医療圏のがん診療の中核的役割を果たし、地域医療支援病院として豊中市の地域医療を担う存在である。精神科は平成9年に開設され、精神科リエゾンチームを中心とした無床精神科として、入院部門ではせん妄予防、緩和ケア、外来部門では地域と連携したもの忘れ外来を主たる業務としている。精神科リエゾンチームの取扱い患者数は日本一であり、病院機能評価では2項目のS評価を獲得している。卒後臨床研修では自院で1カ月の精神科研修を行い、大阪大学の医学生の実習も指導している。日本総合病院精神医学会、日本認知症学会、日本緩和医療学会の研修施設である。

連携施設5： 大阪市立・総合医療センター

許可病床数は1,063床で、9つの臓器別センター、58の診療科を擁し、がん医療、小児医療など高度・専門的医療を提供しているほか、周産期医療、3次救急と小児3次救急医療機関、第一種・第二種感染症指定医療機関であるほか、精神科救急・合併症医療、災害医療などの政策医療も担っている大阪市の中核病院である。精神科は、18歳以上を対象とし、28床の病棟を持つ精神神経科と18歳未満を対象とし22床の病棟を持つ児童青年精神科の2科2病棟があり、「こどもからお年寄りまで」の全年齢層の患者を対象とした精神医療を行っている。総合病院精神科として精神科単科病院と連携した精神科合併症医療や、院内身体診療科の治療を受けている患者の精神症状に対するコンサルテーション・リエゾンや緩和医療における精神科治療・関与を習得できる。また、児童思春期病棟を活用した摂食障害や被虐待児の心の問題、また発達障害の精神科治療・関与を習得できる。

専門医プログラム：Aコース

臨床重点サブスペシャリティ取得コース I

初年度：さわ病院

基幹施設にてコアコンピテンシーの習得など精神科医師としての基礎的な素養を身に着ける。

2年度：大阪急性期・総合医療センター及びほくとクリニック病院

研修連携施設である大阪急性期・総合医療センターにてリエゾン・コンサルテーション、身体合併症及び救急との連携などについて学習する。同時期に、月2回程度さわ病院の当直をし、同じく、月2回程度、ほくとクリニック病院で外来業務（初診・再診）を上級医の指導下でおこなう。

3年度：平和病院

沖縄県の平和病院にて、精神科の急性期治療と入院患者の社会復帰について特に学ぶ。患者の社会復帰を通して、地域連携や地域包括ケアの実際を主治医として体験し、地域医療の実際を学習し、多職種との関係を構築することも学ぶ。

専門医プログラム：Bコース

学位単位取得コース

初年度：さわ病院

基幹施設にてコアコンピテンシーの習得など精神科医師としての基礎的な素養を身に着ける。

2年度：さわ病院

引き続き、さわ病院にて研修を行い、外来では初診患者の診断から治療に至るまでを、指導医に相談しながら自ら実践できるようになり、当直では病棟患者の対応に加え、救急対応も数多く経験する。

3年度：市立豊中病院

市立豊中病院での研修をとおり、精神科リエゾンチームの一員として身体科入院中の認知症やせん妄患者に対してチーム員である看護師、心理士らと協働し多数の経験をする。

専門医プログラム：C-1コース

臨床重点サブスペシャリティ取得コースⅡ

初年度：さわ病院

基幹施設にてコアコンピテンシーの習得など精神科医師としての基礎的な素養を身に着ける。

2年度：大阪急性期・総合医療センター

研修連携施設である大阪急性期・総合医療センターにてリエゾン・コンサルテーション、身体合併症及び救急との連携などについて学習する。他科と協働して一人の患者に向き合うことで、チーム医療におけるコミュニケーション能力を養う。

3年度：さわ病院及びほくとクリニック病院

再び基幹施設のさわ病院にて、精神科医療の最前線における精神科臨床医として、初診および再診外来診察と入院担当医として診断、治療、社会復帰等について指導医、上級医からのスーパーバイズを受けながら学び、臨床能力を研鑽し、特定医師として精神保健福祉法や関連法規に関する基礎知識を学習する。同時期に、ほくとクリニック病院で当直を上級医の指導下でおこなう。

専門医プログラム：C-2コース

臨床重点サブスペシャリティ取得コースⅢ

初年度：さわ病院

基幹施設にてコアコンピテンシーの習得など精神科医師としての基礎的な素養を身に着ける。

2年度：大阪市立・総合医療センター

研修連携施設である大阪市立・総合医療センターにてリエゾン・コンサルテーション、身体合併症及び児童青年精神などについて学習する。他科と協働して一人の患者に向き合うことで、チーム医療におけるコミュニケーション能力を養う。

3年度：さわ病院及びほくとクリニック病院

再び基幹施設のさわ病院にて、精神科医療の最前線における精神科臨床医として、初診および再診外来診察と入院担当医として診断、治療、社会復帰等について指導医、上級医からのスーパーバイズを受けながら学び、臨床能力を研鑽し、特定医師として精神保健福祉法や関連法規に関する基礎知識を学習する。同時期に、ほくとクリニック病院で当直を上級医の指導下でおこなう。

週間スケジュールの一例

再診外来（1～2回）、初診外来または精神科救急外来（1～2回）、家族面談（入院患者様のご家族との面談、隔週）が基本です。当直（17:00～9:00）は月に4回が基本で、その他に水曜、日曜、祝祭日の日直（8:45～17:00）が月に1～2回程度あります。

	月	火	水	木	金	土	日
午前	認知症疾患 センターの 診療陪席 (mECT陪席)	外来業務	休診日	病棟業務 (mECT陪席)	外来業務	病棟業務	休診日
午後	病棟業務 勉強会	病棟診察 適宜、措置 診察に陪席	休診日	午後休 (例)	病棟業務 病棟カン ファレンス	病棟診察 隔週で 家族面談	休診日
夕方		医局会 症例検討会					

取得できる資格の一例

- 精神保健指定医
- 精神科専門医
- 老年精神医学専門医
- 認知症専門医
- 睡眠学会認定医
- 精神保健判定医
- 一般病院連携精神医学専門医

さわ病院 精神科専門医研修プログラム

学びの機会



医局会、症例検討会

当院では医局会、症例検討会等を定期的に行っております。

《主なカンファレンス》

医局会（毎週）、医局症例検討会（毎週）、心理・医局症例検討会（月1回）

研修医向けケースカンファレンス（毎週）、社会復帰施設症例会議（月2回）

救急入院料病棟カンファレンス（随時）、病棟カンファレンス（随時）

E C Tおよびクロザピン治療症例検討会（随時）

認知症専門病棟での定期カンファレンス（随時）

各種院内委員会などへの出席（随時）

外部講師の招聘

幅広い知識を養うため、国内外のあらゆる方面でご活躍されている講師を招聘し、さわ病院内で講習会を実施しています。

《主な講師》

星野絵里先生 聖路加国際大学 公衆衛生大学院

尾崎米厚先生 鳥取大学医学部医学講座 環境予防医学分野

金城文先生 鳥取大学医学部医学講座 環境予防医学分野

大路剛先生 神戸大学病院感染症内科

Evan Garner, MD El Camino Hospital, California

学会・研究会発表の奨励

さわ病院では、日々の臨床業務を行うことも大切ですが、医療に対する探究心を持ち続けることも大切だと考えています。その1つに、学会・研究会での発表を奨励し、サポートをおこなっています。希望される研修医には、発表に必要な指導を懇切丁寧に行います。



学会・論文発表の実績

《主な学会発表実績》

第112回日本精神神経学会学術総会 ポスター発表

第24回日本精神科救急学会学術総会 演題発表

第120回近畿精神医学会 発表

第32回老年精神医学会 発表

第113回日本精神神経学会シンポジウム 発表

The 11th ICME International Conference on Complex Medical Engineering 発表

《主な論文掲載実績》

Risk Factors of a Suicide Reattempt by Seasonality and the Method of a Previous Suicide Attempt: A Cohort Study in a Japanese Primary Care Hospital

Suicide and Life-Threatening Behavior : 28 December 2016

カナダ・バンクーバー海外研修

医療に携わる者として他国の医療制度や実際の医療現場を知り今後の医療活動に役立てる為、海外研修も行っています。2017年度は、『老年期地域精神科医療』の視察研修としてカナダ・バンクーバーにある下記の3病院を訪問しました。

バンクーバー総合病院



セントポール病院



マウント セント ジョセフ病院



災害支援への取り組み

精神科救急病院の持つスキルやノウハウを活かし、被災者の役に立ちたいとの思いから災害支援活動にも取り組んでいます。

- 東日本大震災や、熊本地震にて直ちに支援活動を行いました。
- 当院の緑川大介医師はDPAT事業協力者として各都道府県のDPAT隊員の育成や指導にあたっています。
- 2017年4月に当院は「**災害時支援中心病院**」に選ばれました。



さわ病院 精神科専門医研修プログラム

病院見学 について



申し込み方法

■見学日時

随時受け付けていますので、ご都合に合わせて申し込みください。

見学内容についても、個別相談に応じます。

■メールでの申し込み

E-mail: deguchi@hokuto-kai.com

担当者：出口 靖之（診療部）

■HPからの申し込み

下記URLよりお申し込みください

URL: <http://www.hokuto-kai.com/>

※詳細はページ右を参照ください⇒

The image shows a screenshot of the Sawabon Hospital website. The main header features the hospital's name and navigation links. Below the header is a large banner image of the hospital building with the text "精神医療と精神福祉の総合サービス" and "社会医療法人北斗会 さわ病院". A navigation bar contains links for "ホーム", "病院紹介", "外来のご案内", "精神科救急のご案内", "入院のご案内", and "アクセス".

Annotations and steps are provided:

- ① クリック: A blue callout bubble points to the "医師募集" (Recruitment) button in the "採用情報" (Recruitment Information) section on the right side of the page.
- ② クリック: A blue callout bubble points to the "見学は随時受け付けています" (We accept visits at any time) button in the "お知らせ" (Notice) section at the bottom of the page.

Additional annotations include:

- A dashed blue box around the top navigation bar.
- A dashed blue box around the "採用情報" section.
- A dashed blue box around the "見学は随時受け付けています" button.
- A large blue arrow pointing from the "採用情報" section down to the "見学は随時受け付けています" button.
- A dashed blue box around the text "②「病院見学のお申し込み」をクリック" (Click on "Apply for hospital visit") at the bottom right.

アクセス：さわ病院

■ 阪急宝塚線

「服部天神」駅より徒歩12分
「曽根」駅より徒歩12分

■ 「服部天神」駅より

「梅田」駅へ 直通12分

「宝塚」駅へ31分

「三宮」駅へ36分 ※十三で特急に乗り換え

「新大阪」駅へ 車で15分

※「服部天神」駅からは南方で御堂筋線に乗り換えで20分

「大阪空港」駅へ15分

※蛍池駅でモノレールに乗り換え

USJまで50分 ※乗り換え時間含む



アクセス：ほくとクリニック病院

- 地下鉄長堀鶴見緑地線 1号出入口
「大正」駅 徒歩1分
- JR環状線
「大正」駅 徒歩3分
- 阪神なんば線
「ドーム前」駅 徒歩8分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線「大正」駅より
「なんば」駅へ11分 ※心斎橋駅で御堂筋線に乗り換え
- JR環状線「大正」駅より
「大阪」駅へ11分
「天王寺」駅へ8分

USJまで20分 ※乗り換え時間含む



一緒に働ける日を
楽しみにしています！

さわ病院連携プログラム一同